

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- ・生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。
- ・生活と技術の関わりについて理解を深める。
- ・進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	題材名・単元名	学習内容
1 学期	【ガイダンス】 【A 材料と加工の技術】 ・生活や社会と材料と加工の技術 ・製作のための技能	・技術の役割／技術の見方・考え方／問題解決の流れ／作業の安全 ・身の回りにある材料と加工の技術 【木工製作実習】 ・製図のルールとかき方／構想と設計／材料取り（けがき）／切断
2 学期	・製作のための技能 ・材料を利用するための技術	【木工製作実習】 ・切削／穴あけ・溝ほり／組立て／仕上げ ・木材の性質と種類／木材の加工のしくみ／丈夫な構造や部材
3 学期	・材料を利用するための技術 ・これからの材料と加工の技術 ・学習のまとめ	・金属の材料と加工／プラスチックの材料と加工 ・材料と加工の技術の学習をふり返ろう

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・ 定期考査・製作物・授業観察 ・ 振り返りフォーム等への記述
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・ 定期考査・製作物・授業観察 ・ 振り返りフォーム等への記述
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・ 授業態度・作業の様子 ・ 授業観察

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・ 技術の授業では、何気ない作業の1つ1つの中にも自分で課題を見付け、自ら考えて工夫しながら作業を進めていくことが大切です。例えばのこぎりで板を切断する場合、ただ単にのこぎりに力をこめて前後に動かすだけではなく、微妙な力の入れ方や抜き方、板に刃を当てる角度など、さまざまなことをよく考え、試行錯誤をくりかえしながら作業を進めていくことが重要です。
- ・ 普段から授業の説明をよく聞き、重要だと思った点があれば、指示がなくても自らの判断でノートに書き留めるなどの積極的な姿勢が必要です。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・ 技術科では、家庭での予習は特に必要ありません。そのかわりに、その日に学習した授業内容をよく思い出して、復習をしっかりするように心がけてください。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・ 技術の試験問題には、実習時に説明した作品製作上のポイントや注意点などが多く出されます。
- ・ 授業で使用したプリントや授業ノート等を中心に復習するとともに、教科書の関連する部分にも目を通しておくようにしましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・ 技術の製作実習で重要なことは、集中して丁寧に作業に取り組むことです。この点によく注意して、先生の指示を守って取り組めば、必ず良い作品を仕上げることができます。あきらめずにがんばって取り組んでください。